

# 仕様書

1	品名	ポータブル脳波計		
2	規格品質	下記の通り		
3	メーカー名	日本光電工業株式会社		
4	数量・単位	一式		
5	構成・数量	品名	規格	数量
		脳波計 EEG-1260Next 一式		1
		(内訳)		
		脳波計	EEG-1260	1
		コントロールユニット	GG-126A	1
		脳波アンプユニット	JE-940A	1
		液晶ディスプレイユニット	VL-121A-01	1
		アダプタ	DI-120A	1
		架台	KC-125A	1
		バッテリユニット	SB-940A	1
		デジタルビデオソフトウェア	QP-110AK	1
		マイクセット	ZD-110A	1
		カラーカメラセット3	LC-361B-01	1
		カメラポール	KH-120A	1
		ニューロチェックカーラー	AX-510B	1
6	必要とする仕様	接続ケーブルAX510B-JE940A	JW-510A	1
		中継コード BM-501B	K621	1
		EEG設置調整費		1
		システム接続費		1
		別紙参照		
7	納期	令和8年3月31日		
8	納品場所	秋田県立医療療育センター 臨床検査部門		
9	備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>搬入、設置、調整にかかる費用はすべて本体に含むようにすること。</li> <li>搬入、設置、調整に係る手順、スケジュール等については事前にセンター職員と協議すること。</li> <li>研修は双方の立ち合いのもと性能等確認したうえで完了すること。</li> <li>取扱い説明に関する教育訓練はセンター職員と協議の上、指定する日時、場所で行うこと。</li> <li>納品検査確認後1年間は、通常の使用状態での故障に対して無償修理ができる。</li> <li>検査を終えた時点で装置の納品が完了するものとする。</li> </ul>		

要求仕様	
1	計測機能は以下の性能を有すること。
1-1	電極端子は頭図位置25個のほか、多用途電極端子等を含め41ch以上の記録ができること。
1-2	サンプリング周波数が200～4,000Hz以内で選択できること。
1-3	脳波皿電極リード線の断線チェックが可能であること。
1-4	脳波入力部の弁別比（CMRR）は120dB以上であること。
1-5	入力抵抗は200MΩ以上であること。
1-6	内部雑音は1.5μVp-p以下であること。
1-7	インピーダンスチェックの結果は電極接続箱にて頭図状のLEDで確認できること。
1-8	脳波のファーリング中に患者の行動を極力制限しないように、入力部側でバッテリ駆動できファーリング中のデータを保存できること。
1-9	脳波をファーリング中にパソコン側との通信エラー等が発生した場合に備え、脳波アンプユニット側でデータのバックアップが可能であること。
2	イベント入力に際して以下の機能を有すること。
2-1	波形上に付箋紙のようにコメントを貼り付けて保存できること。
2-2	イベント登録位置の縦線表示できること。
2-3	パターン変更・光刺激などの操作時に自動的にイベント入力されること。
2-4	入力されたイベントは、画面上に波形と一緒に表示されること。
2-5	入力されたイベントは、再生時にデータの頭出しに活用できること。
3	表示機能は以下を有すること。
3-1	ビデオカメラで撮影している患者映像を測定中の画面に表示できること。
3-2	CAL（校正）波形が表示でき、時定数による過渡現象の変化が確認できること。
3-3	左右波形のスーパーインポーズ、選定したチャネルのみの表示、チャネルごとの色分け表示の設定できること。
3-4	画面上に定規を表示できること。
3-5	波形描画方法として、高精度、ペンの2種類から選択できること。
4	ファーリング機能は以下を有すること。
4-1	本体内蔵のハードディスクが50Gbyte以上で、保存電極数25電極+2マークのサンプリング周波数500Hzでは約500時間以上の波形データの保存できること。
4-2	測定中に、同じファイルの過去のデータの再生を行い、波形を確認できること。
4-3	脳波と被検者の画像をデジタル化し、時刻同期して保存・再生を行うできること。
4-4	指定された時間で区切りながら、複数ファイルで長時間の脳波データを保存する長時間記録機能できること。
5	再生・解析機能は以下を有すること。
5-1	イベントジャンパーを使って、脳波ファイルの任意の位置への移動できること。
5-2	脳波を再生する際に、測定中に生じた交流障害や生体アーチファクト（筋電図、心電図、眼球運動）を除去する機能を有すること
5-3	再生時に、指定した位置の波形電位を頭部モデルの3次元イメージにマップ表示できること。
5-4	測定した脳波波形の品質状態を確認できる機能を有する事
5-5	波形の表示条件（感度、TC、HF、Pattern、表示時間）を設定・登録できること。
6	データ管理機能は以下を有すること。
6-1	測定した波形データの保存先ディスクのディスク番号と患者情報を自動的にデータベースに登録すること。
6-2	患者情報に入力されている項目でキーワード検索、複数の項目の組み合わせ検索等が可能な検索機能を備えていること。
6-3	再生プログラムのインストールされていないPC上で、脳波のデータを参照できるディスクを作成できること。